

平成22年度事業報告

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

国際協力事業

担当委員会： 国際協力委員会
事務局担当： 総務部企画開発課

1. プロジェクト協力推進事業

主旨：OB/OGによって協力・推進できる業種・技術分野の中から選択し、これを積極的に推進する。また、内外の法人からの寄贈品等を、適宜関連の途上国へ送付する。

東京事務局

実施計画	開始年度
JOCA 海外支援プロジェクト	2008
実施報告	
マラウイ農民支援プロジェクトやラオスプロジェクトなど中長期事業で報告。	

2. 国際ボランティア団体との連携強化事業

主旨：本会と同様の趣旨に基づき設立された各国諸団体（各国のボランティア団体等）と情報交換・人的交流を行い、将来においてこれらの団体と多国間協力体制確立を目指すことを目的に、情報交換、各種会議に参加・協力する。

東京事務局

実施計画	開始年度
国際協力団体との情報交換・連携強化 KOVA、NPCA等との情報交換に加え、KOICAやアメリカ平和部隊、あるいはアジア各国で始まったボランティア事業の実施団体との情報交換・連携強化に努める。	1984
実施報告	
1 韓国ソウルボランティアセンター主催の「国際ボランティアシンポジウム」に澤山理事が講演者として出席、アジアのボランティア団体との情報交換を行った。	

支援事業

担当委員会： 支援事業委員会
事務局担当： 事業部事業一課・二課、総務部企画開発課

1. 国際協力支援

主旨：国、および地方自治体等の行う事業に、民間の立場から関係各位と密接な協議を行い、積極的に支援・協力をを行う。

東京事務局

実施計画	開始年度
地方自治体の国際化支援 a) 「浦安市国際センター」 b) 「鹿児島県アジア・太平洋農村研修センター」 c) 「神奈川県国際研修センター」 d) その他案件開拓（全国の自治体との連携事業及び国際交流施設等） 国内・外での緊急対応支援 a) JOCA職員研修実施(上級救急救命士・JDR) b) JOCA災害救援専門ボランティアの登録 c) 災害時の情報収集と登録ボランティアへの情報発信 外務省関係 a) 「日本文化発信プログラム」 東欧4カ国（ブルガリア、ハンガリー、ポーランド、ルーマニア）27名のボランティア派遣の現地調整等の業務。 b) 「NGOインターン・プログラム」 国際協力NGOで活躍する若手人材の育成を通じて、NGOによる国際協力の拡充を目指す同プログラムの事務局業務。 その他	2006 2006 新規 1999 2005 2005 2008 新規

実施報告

a) 「浦安市国際センター」

	平成 21 年度（3 月）		平成 22 年度（3 月）		前年度比
	研修室利用者数	総来館者数	研修室利用者数	総来館者数	
合計	13,544	19,996	15,225	24,551	122.7%

震災後、講座や窓口対応などセンター使用を一時停止したが、3/28 より通常再開。

b) 「鹿児島県アジア・太平洋農村研修センター」

	平成 21 年度（3 月）			平成 22 年度（3 月）			前年度比
	見学者	研修者	合計	見学者	研修者	合計	
合計	3,122	10,201	13,323	3,875	9,950	13,825	103.76%

c) 「神奈川県国際研修センター」

- ・ 私費留学生 38 名、県費留学生 9 名、合計 47 名が長期宿泊利用。所長以下 3 名とアルバイト 4 名で運営。
- ・ センターの利用促進と県民との交流促進
 4 月：懇親会 5 月：募集説明会実施、JENESYS 中国公務員との交流会会場として活用
 6 月：JENESYS 中国高校生交流の通訳として留学生 3 名に依頼
 7 月：写真展の開催（留学生、県民から作品募集）
 11 月：11/14 に神奈川国際研修センターデーを実施。
- ・ 8 月 24 日から海外技術研修員 5 名（中国、タイ、カンボジア、エクアドル、インド）を受入れ。9 月に日本語研修を実施。3 月上旬に海外研修員 5 名は無事、帰国。
- d) 自治体等が実施する委託業務等案件に 48 件応募、35 件落札した。

東日本大震災に関する支援活動

- ・ 3 月 11 日の震災発生直後、先遣隊を派遣し体制を整え、仙台市内に拠点を設置。協力隊の職種を活かした支援活動を仙台市内の国際交流センターや 2 か所のボランティアセンター、岩沼市、岩手県遠野市で実施。3 月 31 日までに 16 名が活動。
- ・ 3 月 31 日現在、JOCA 災害救援専門ボランティアの登録者 402 名。

a) 「日本文化発信プログラム」

- ・ 2月中旬、ブルガリア7名、ポーランド6名、ルーマニア6名、ハンガリー7名が無事帰国。
- ・ 6月15日、外務省行政事業レビューに取り上げられ、今年度での終了（廃止）が確定。
- ・ 3/17までに調整員を含むボランティアが帰国済み。

b) 「NGO インターン・プログラム」

- ・ 5月10日受託開始、29件の応募より、外務省が20団体を選定。
- ・ 7月、インターン受入れ20団体の状況確認調査を実施。
- ・ 継続10団体の募集を行い7団体選定。

a)H22年度国際ボランティア貯金寄附金の配分事業にかかる海外実地調査(受託)

- ・ 期間：2010年6月21～11月30日、対象：4か国16団体（バングラデシュ、中国、ネパール、ミャンマー）

近畿支部

実施計画	開始年度
地方自治体の事業支援	1997
実施報告	
近畿圏における自治体関係の委託業務の情報収集を行った。	

九州支部

実施計画	開始年度
他団体との連携による協力	1999
実施報告	
九州圏における自治体関係やNGO等との情報収集・交換を行った。	

中国支部

実施計画	開始年度
地方自治体の国際化支援	2001
NGOとの共同事業の推進	2001
実施報告	
<p>a)6/21（金）広島市坪井公民館の国際協力講座への協力（講師の紹介、実施支援）</p> <p>b)広島県安芸高田市「多文化共生推進計画」への支援</p> <p>NGOとの連携強化を行った。</p> <p>8/22（日）広島県安芸高田市「国際夏祭り」イベント支援及びブースの出展（NPOとの共同）、平和教育事業への支援。7/30（金）会議への参加（アドバイザー）、9/26 全国ボランティアフェスティバルへの参加、11/21（日）広島キャンパスフェスティバル出展、2/22（火）ひろしま国際交流サミットへの参加、3/21（月）多文化共生ネット広島「多様な担い手による多文化共生」イベントへの協力、青年研修（フィリピン・平和構築）フォローアップの検討、広島市被災者支援ボランティア本部への協力（構成団体の一つ）</p>	

中部支部

実施計画	開始年度
地方自治体の国際化支援	2008
NGOとの共同事業の推進	2008
その他	

実施報告	
愛知県多文化共生推進教室開催業務事業を愛知県より受託	
a あま・津島教室開始 17名対象 7/3～10/23	b 岡崎教室開始 10名対象 7/16～11/15
c 蟹江教室開始 13名対象 9/3～12/24	
N G Oや自治体との連携事業を実施した	
浜松市 第3回都市・自治体連合アジア太平洋支部コングレ 2010 浜松ブース参加 10/19～21、愛知県ワールドコロボ参加 10/23.24、春日井市 国際交流イベント参加 11/6.7 協力帰国隊員 5名参加者 20名、知立市 多文化共生イベント協力 3/26、27 参加O B 8名	

2. JICA及びJOCV業務支援事業

1) OB/OGの経験を再活用するため、JICAのボランティア調整員等の所属先として支援する。

実施計画	開始年度
ボランティア調整員、専門家及びプロジェクト調整員等の所属先としての支援 「ボランティア調整員体験者によるセミナー」の開催	1986 2005
実施報告	
企画調査員（ボランティア）：138名 専門家：17名 派遣（3/31現在）	
1 平成22年度春（4月～5月）	
東京、大阪、名古屋 計4回、中級セミナー、語学セミナー各1回開催。延べ参加者数 85名	
2 平成22年度秋（10月～12月）	
東京、大阪、札幌 計5回、中級セミナー、語学セミナー各1回開催。延べ参加者数 112名	

2) OB/OGの経験を活用及び育成をするため、JOCV各種事業に対し積極的に支援・協力をを行う

東京事務局

実施計画	開始年度
JICAボランティア事業支援業務 (長期ボランティア)	1995
a) 募集・広報支援業務（JICA15国内機関における「体験談&説明会」等）	
b) 選考支援業務（JV, SVの選考関連業務）	
c) 技術支援業務（技術補完研修等）	
d) 派遣前訓練・研修支援業務（JV, SVの派遣前業務等）	
e) 各種支援業務（JICA15国内機関における表敬訪問、派遣前支援、派遣中支援業務等） （短期・長期ボランティア経験者・語学免除者ボランティア・随伴者研修）	
f) 募集、選考支援業務（JV, SV短期ボランティアの募集選考業務）	
g) 派遣前研修支援業務（JV, SV短期ボランティア及び語学免除者の派遣前研修業務）	
その他	
a) JICA国際緊急援助隊支援業務	1999
b) JICA安全管理支援業務	2003
c) 世界の笑顔のために	2003
実施報告	
JICAボランティア事業支援業務 (長期ボランティア)	
a) 募集・広報支援業務（JICA16国内機関における「体験談&説明会」等）	
春募集：4月1日～5月17日	
・JV 参集者数 8,006名（前年度春 8,751名） JV実施回数 151回（前年度秋 181回）	
・SV " 3,294名（前年度春 3,820名） SV実施回数 109回（前年度秋 130回）	
秋募集：10月1日～11月8日	

- ・JV 参集者数 JV6 , 6 6 4 名 (前年度秋 7,231名) SV2 , 6 7 4 名 (前年度秋 3,242名)
11月上旬の3日間に広尾、大阪、名古屋で応募相談会を実施 (参加者合計31名)

b) 選考支援業務 (JV, SVの選考関連業務)

春募集

- ・JV 2次選考 7月6日~7月15日 (8日間)
応募者: 2,046名 (前年度春 2,391名) 二次合格者: 635名 (前年度春 861名)

- ・SV 2次選考 7月1日~7月5日 (3日間)
応募者: 776名 (前年度春 918名) 二次合格者: 154名 (前年度春 160名)

秋募集: (語学2次選考にTOEICを導入。事前に英語スコアの提出)

- ・JV 2次選考 1月5日~1月19日 (10日間、2日間の延長)
応募者: 2,014名 (前年度秋 2,361名) 二次合格者: 449名 (前年度秋 764名)

- ・SV 2次選考 12月20日~12月22日 (3日間)
応募者: 714名 (前年度秋 934名) 二次合格者: 113名 (前年度秋 182名)

c) 技術支援業務 (技術補完研修等)

- ・カピックで5月に11名、8月に9名、11月に10名の村落開発普及員の研修を実施 (本年度計37名 昨年度は2コース、30名を実施)

(21年度は1,625名の合格者のうち1,053名 (前年度832名) に技術補完研修を手配)

d) 派遣前訓練・研修支援業務 (JV, SVの派遣前業務等)

(長期ボランティア)

駒ヶ根・二本松入所者: 平成22年度第1・2・3・4次隊 1,573名 (内SV242名)

JICA広尾及び大阪: 平成22年度1・2・3・4次隊 語学免除者69名 (内SV38名)

平成22年度1・2・3・4次隊 経験者44名 (内SV40名)

22年度実績 1,686名 (内SV320名) *21年度実績 1,682名 (内SV328名)

e) 各種支援業務 (JICA15国内機関における表敬訪問、派遣前支援、派遣中支援業務等)

平成22年度2次隊 表敬訪問、OB会支援

(短期ボランティア)

a) 募集、選考支援業務 (JV, SV短期ボランティアの募集選考業務)

平成22年度短期特別派遣応募者 31名 (案件数 18件)、第1回短期派遣応募者 86名 (案件数 112件) 第2回短期派遣応募者 73名 (案件数 106件)、第3回短期派遣応募者 70名 (案件数 119件)、第4回短期派遣応募者 53名 (案件数 93件)

*平成22年度実績第1~4回の応募者数 313名 (平成21年度実績1,023名)

b) 派遣前研修支援業務 (JV, SV短期ボランティアの派遣前研修業務)

平成21年度第6回研修者数 45名、平成22年度特別募集者研修 16名、第1回研修者数 39名 第2回研修者数 18名、第3回研修者数 17名 合計: 135名

*21年度実績 平成20年度第6回研修者数 47名、平成21年度第1~5回研修者数 409名

a) 常時6名し、その他13名の職員を派遣

(第2回メンテナンス会運営 1名、第2回技術訓練運営 2名、第43回導入研修運営 1名
パキスタンイスラム共和国における洪水に対する国際緊急援助隊医療チームに4名派遣
ニュージーランド南島での地震被害に対する国際緊急援助隊救助チームに5名派遣)

b) 常時3名の職員を配置

c) 寄贈品収集業務の実施:

第1回目 要望申請国: 48カ国、申請ボランティア: 136名、総申請案件数: 743件 (不採択123件 取り下げ6件) 提供者: 118 (団体65、個人53)

第2回目 要望申請国: 43カ国 申請ボランティア: 112名、総申請案件数: 562件 (不採択61件) 提供者: 111 (団体67、個人44)

d) グローバルフェスタJAPAN2010 関東圏OB会等出展 (30団体) 参集者数105,000名

近畿支部

実施計画	開始年度
JICAボランティア事業支援（JICA大阪、兵庫）	1997
JICA 進路相談カウンセラー執務室提供	1998
人材派遣業務	2002
実施報告	
<p>JICA ボランティア事業支援（JICA 大阪、兵庫）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春募集説明会：JV[会場数（23）・参集者数（1452）] SV[会場数（14）・参集者数（567）] ・秋募集説明会：JV[会場数（21）・参集者数（1186）] SV[会場数（12）・参集者数（389）] ・特別募集説明会：JICA 大阪（29 会場、2,043 人）JICA 兵庫（20 会場、1,068 人）（3/31 現在） <p>2 出発表敬支援：H22-1（87 名）、H22-2（54 名）、H23-3（75 名）、H23-4（63 名）</p> <p>執務室の提供及び訪問者への接遇支援</p> <p>人材派遣業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JICA 兵庫国際センター配置（3 名：図書関連業務支援・広報関連業務支援・プラザ兵庫関連業務支援） 	

中国支部

実施計画	開始年度
JICAボランティア事業支援（JICA中国、四国）	2001
JICA進路相談カウンセラー執務室提供	2002
実施報告	
<p>JICAボランティア事業支援 協力隊体験談&説明会運營業務（JICA中国・四国）</p> <p>JICA 中国 JV15 会場 参集者状況 22 秋 376 名 /（参考：21 春 415 名・21 秋 379 名・22 春 378 名）</p> <p>SV 9 会場 参集者状況 22 秋 121 名 /（参考：21 春 200 名・21 秋 139 名・22 春 140 名）</p> <p>JICA 四国 JV 8 会場 参集者状況 22 秋 174 名 /（参考：21 春 185 名・21 秋 159 名・22 春 171 名）</p> <p>SV 8 会場 参集者状況 22 秋 81 名 /（参考：21 春 65 名・21 秋 97 名・22 春 79 名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特別募集説明会実施 JICA 四国：14 件実施 ・ 出発時表敬訪問支援、9/25（土）「サンフレッチェ広島ゲームマッチ広報」の支援 <p>JICA進路相談カウンセラー執務室提供</p>	

中部支部

実施計画	開始年度
JICAボランティア事業支援（JICA中部）	2006
JICAボランティア事業支援（JICA北陸）	2009
その他	
実施報告	
<p>春募集：JV 会場数（17）・参集者数（700）、SV 会場数（15）・参集者数（320）、特別募集説明会 26 件 参集者 1124 名</p> <p>秋募集：JV 会場数（15）・参集者数（576）、SV 会場数（13）・参集者数（268）、個別応募相談会：11/2～11/4 参集者(3)</p> <p>H23 年度春募集（キャンセル対応）： JV 会場数(1)来場者数(5)、SV 会場数(1)来場者数(2)</p> <p>2 JICA ボランティア家族連絡会：（愛知県）・参集者（27 家族 43 名）、（三重県）・参集者（16 家族 22 名）（岐阜県）・参集者（13 家族 20 名）/OB6 名、（静岡県）・参集者（33 家族 50 名）/OB9 名、</p> <p>3 出発時表敬訪問支援：（H22/1 次隊：59 名 H22/2 次隊：54 名 3 次隊：44 名 H22/4 次隊：38 名）</p> <p>4 社会還元オリエンテーション：第 1 回（帰国ボランティア 37 名、関係者 24 名）第 2 回（帰国ボランティア 41 名、関係者 30 名）</p>	

5 JICA ボランティア帰国報告会：第1回(報告者 37 名、関係者及び一般参加者 158 名)第2回(報告者 39 名、関係者及び一般参加者 128 名)

春募集説明会：JV 会場数(9)・参集者数(151)、SV 会場数(5)・参集者数(73)

秋募集説明会：JV 会場数(9)・参集者数(134)、SV 会場数(5)・参集者数(63)

特別募集説明会： 18 件 1,068 名

1 出発時表敬訪問支援(H22/1 次隊：14 名、2 次隊：10 名、3 次隊：9 名、4 次隊 9 名)

2 帰国時表敬訪問支援(H20/1 次隊：7 名 3 県 6 市 1 町、2 次隊：4 名 3 県 4 市、3 次隊：7 名 3 県 6 市 同行 OB3 市 3 人)

3 帰国時研修 参加者(19/3.4 名.20/1 8/8 実施)(プレゼン研修参加 11 名 3/19 実施)

文化事業

担当委員会： 文化事業委員会

事務局担当： 事業部事業三課

1. 人づくり協力推進事業

主旨： 本会の独自性を踏まえて「開発教育」等を協力隊OB/OGの体験を基にしながら、さらに発展させた「地球生活体験学習」プログラムを構築し推進する。また、隊員OB/OGや他団体と協力しながら、世界平和に貢献する人材育成に寄与する。

東京事務局

実施計画	開始年度
地球生活体験学習の推進	2000
a)企画・開発 (プログラム開発、教材開発)	
b)研修・実践 (JOCA職員研修、地球生活体験学習実践者研修、イベント・セミナー開催、JOCAオープンカレッジ、海外プログラム実施等)	
c)講師派遣、教材貸出	
JICA開発教育支援事業支援	
a)JICA開発教育支援事業(JICA札幌・沖縄)	2006
b)JICA地球ひろば運営管理業務(体験ゾーン・図書資料室)	2006
c)JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト全国運営事務局業務	1998
神奈川県森林作り定着型ボランティア事業支援	2008
アフリカンフェスタへの協力	2007
その他	

実施報告

地球生活体験学習の推進

a)、b)・地球生活体験学習指導者養成講座、地震の影響により延期。

- ・ 帰国ボランティア対象スキルアップセミナー 3回実施、参加者計99名。4回目は地震の影響により中止。
- ・ JOCAオープンカレッジ 6回シリーズ「開発援助と人類学」
第1回 6/30 22人「依存から自立へ、スラムコミュニティの開発プロセスの考察」、第2回 9/25 24人「女性のエンパワーメント」、第3回 10/20 18人「タイのコミュニティ開発の試みについて」、第4回 12/11 20人「ジェンダーと開発」、第5回 2/23 37人「西洋医療と民族医療」
第6回 震災の影響により延期

c)講師派遣、教材貸出

- ・ 講師派遣・自主事業実績

項目	件数	人数	派遣人数
教委・教育センター	5件(2件)	169名(116名)	7名
学校・社会教育	30件(24件)	2,734名(1,383名)	56名
各県・各種OV会	1件(4件)	12名(70名)	1名
JICA各機関	17件(8件)	1,044名(255名)	20名
合計	53件(38件)	3,959名(1,824名)	84名
自主事業	5件(8件)	123名(240名)	9名
合計	58件(46件)	4,082名(2,064名)	93名

カッコ内は昨年度実績 JICA 出前講座のカウントは平成 22 年度から

・ワールドボックス貸出

貸出数(ワールドボックス、民族衣装等込み) 173個/50件 (昨年度実績:144個/64件)

・教材販売

	セネガル (平等)	タイ (いのち)	ルーマニア (生きる)	モルジブ (環境)	PNG (ちがひ)	ホンジュラス (愛)	合計
H21販売数	40	36	34	37	34	34	215
H22販売数	38	27	28	28	22	23	166
販売総数	446	414	425	427	252	258	2,227

JICA開発教育支援事業支援

a)JICA開発教育支援事業(JICA札幌・沖縄)

・JICA札幌:出前講座、センター訪問対応 JICA沖縄:海外教師派遣、開発教育指導者研修等

b)JICA地球ひろば運営管理業務(体験ゾーン・図書資料室)

・来館者人数 42,232人(前年;35,858人)

基本展示:「人間の安全保障」(4月、5月、9月、10月、11月、3月)

企画展示:「キックオフ アフリカ」(6~8月)、「地球の子どもたち~学校に行きたい~」(12~2月)

c)JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト全国運営事務局業務

・応募数;中学生の部 47,081通(前年:49,054通) 高校生の部 24,232通(前年:24,125通)

・青年海外協力隊OB会会長賞 203作品 (中;108作品、高;95作品)。

神奈川県森林作り定着型ボランティア事業支援

ワーキンググループ活動(植樹、草刈等)6回実施 のべ61名が参加、イベント等参加(神奈川県全国植樹祭、やどりき水源林の集い、協力隊まつりに出展)、教育プログラムとして「やどりきサマーキャンプ」実施。参加者22名。

アフリカンフェスタへの協力

・アフリカンフェスタ運営委員として協力。

その他

・東京都立清瀬高等学校と奉仕支援に関する契約締結。授業実施済み。

・東京都教育庁との連携により都立高校における専門的外部人材活用事業を支援

鷺宮高等学校(倫理・総合)、石神井高等学校(英語)、板橋高等学校(家庭科)、世田谷総合高等学校(総合)、田園調布高等学校(総合)

・東京都教育庁との連携により教育サポーター養成講座(国際理解分野)を1/22から23に実施し、20名が修了。

近畿支部

実施計画	開始年度
地球生活体験学習の推進	2000
JICA 大阪センター開発教育支援事業	2003

実施報告
地球生活体験学習の推進 ・実践（海外プログラム実施等） フィリピン事前調査の実施 3/8-12 JICA 大阪センター開発教育支援事業 センター訪問：件数（65）・訪問者数（2586） 講師派遣：件数（204）・講師数（211）・対象者数（20,251） 伝え方講座の開催 1/22 （於：JICA 兵庫）

中国支部

実施計画	開始年度
地球生活体験学習の推進	2004
実施報告	
エリアサポーター登録依頼において、教材の広報を教育委員会に対し実施。	

中部支部

実施計画	開始年度
地球生活体験学習の推進 JICA中部なごや地球ひろば	2008 2009
実施報告	
<ul style="list-style-type: none"> ・愛知サマーセミナーにて セミナー開催7/19（参加者10名） ・ワールドコラボ わくわく広場 にて地球生活体験学習セミナー実施10/23 参加者12名 ・JOCA オープンカレッジ in 北陸 （JICA 北陸にて） <ul style="list-style-type: none"> 第1回「青年海外協力隊の異文化コミュニケーション」講師：加藤 秀一 参加者：18名 第2回「スポーツの力～国際協力におけるスポーツの役割」講師：山口 拓 参加者：23名 第3回「途上国の教育事情と日本の援助～算数大好きプロジェクトの成果を見る～」参加者：44名 第4回 奮闘する、保健・医療分野の青年海外協力隊 参加者 29名 第5回「平和とは～ウガンダの子ども兵問題を考える」講師：小川真吾氏 参加者：58名 JICA中部なごや地球ひろば（平成22年4月1日～平成23年3月31日） <ul style="list-style-type: none"> ・来場者数：16,613名 ・センター訪問：131件 3,534名 一般来館者：13,079名 ・ボランティア案内人：ボランティア案内人 47名 協力延べ人数 652名 ・出前講座：実施件数 25件 受講者数 2,124名 派遣講師人数 29名 ・8月4日～12月8日企画展「つながる、つなげる、地球のいのち～生物多様性と私たちの未来～」 ・12月11日～2月27日企画展「マネー、世界格差とお金のカンケイ-変えよう！わたしのお金で世界の不平等」 ・3月2日～JICAボランティアパネル展開催中 エッセイコンテストOB会長賞 訪問授与 日程・授与OB調整 東海・北陸 中学生15人(14校) 高校生 8人(8校)	

2. 研修生、留学生受け入れ支援事業

主旨： 各県協力協会・OB会と協力しながら、研修生・留学生の交流プログラムおよび語学研修等に積極的に支援・協力をを行う。また、帰国隊員および法人会員の協力を得ながら、専門分野での受け入れプログラムにも積極的に支援・協力をを行う。

東京事務局

実施計画	開始年度
JOCAスカラシップ	1990
21世紀東アジア青少年大交流計画事業への支援	2007
JICA青年研修事業支援	1990
その他	1985
実施報告	
<p>JOCAスカラシップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8団体に支援実施：KESTES(ケニア)、フィリピンJOCV奨学金委員会(フィリピン)、コロンビア共和国青年海外協力隊教育基金(コロンビア)、にからお基金(ニカラグア)、スランガニ基金(スリランカ)、広島ラオス交流協会(ラオス)、タンザニア教育研究会(タンザニア)、ミタイ基金(パラグアイ) <p>21世紀東アジア青少年大交流計画事業への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国青年代表団：第1陣(5/26-6/2、青年指導者 98名、公務員 70名)、第2陣(9/6-/13 公務員 74名) ・中国高校生訪日団：第2陣(6/8-6/16、193名)、第4陣(10/12-10/20、197名)、第5陣(10/26-11/3、144名) ・日中韓青少年交流事業：(7/20-7/27、合格者95名、派遣98名) <p>JICA青年研修事業支援</p> <p>【JICA東京管轄】：ミャンマー/法制度整備(24名 9/4-9/16)、ネパール/法制度整備(19名11/6-11/18)、カンボジア/法制度整備(18名・11/17-11/29)、中央アジア・コーカサス/行政管理(24名・1/13-1/25)、インド/情報通信技術政策(23名・1/26-2/12)</p> <p>【JICA沖縄管轄】：タイ/職業訓練(実施済み；15名・11/26-12/8)</p>	

近畿支部

実施計画	開始年度
JICA青年研修事業支援	1996
21世紀東アジア青少年大交流計画事業への支援	2008
その他	
実施報告	
<p>JICA 大阪青年研修 バングラ「初中等理数科教育」(H23/2/1~2/16)</p> <p>中国高校生訪日団</p> <p>第2陣：和歌山(日高高校学校交流、日高川町ホームステイ)6/15 壮行会、第4陣：京都(城陽高校)兵庫(武庫川女子大附属高校)奈良(法隆寺国際高校、関西中央高校)大阪(なみはや高校)、10/19 壮行会、第5陣：11/1 京都(西京高校)、11/2 壮行会</p> <p>その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 大阪北淀高校 国際理解教育支援 11/10,12,17 2/3 2 兵庫県立国際高校 ボランティア研究授業支援 10/27,11/10,17,24,12/1 	

中国支部

実施計画	開始年度
21世紀東アジア青少年大交流計画	2008
JICA青年研修事業支援	
実施報告	
<p>本部との情報共有</p> <p>JICA中国青年研修 フィリピン「平和構築」(実施：H23.1.23~2.9)</p>	

中部支部

実施計画	開始年度
21世紀東アジア青少年大交流計画 JICA青年研修事業支援	2008
実施報告	
中国青年団第1陣 青年指導者 ホームステイ 豊田市表敬(5/29~6/1) 中国高校生第4陣 学校交流・ホームステイ 千種・明和高校(10/15.16)、第5陣 学校交流・ホームステイ 松阪商業高校(10/28.29) JICA 中部 中国 「民間セクター開発 産業基盤制度 経済行政(産業振興)」8/30~9/15	

組織事業

担当委員会： 組織事業委員会

事務局担当： 総務部総務課

1. 会員獲得

主旨： 社団法人としての運営基盤である会員獲得のための実施計画を立案し、円滑な会員獲得とともに会員還元について検討する。

東京事務局

実施計画		開始年度
会員の確保 その他		1983
実施報告		
会員名	<u>正会員(前年比増減数)</u>	<u>賛助会員(前年比増減数)</u>
個人会員	480(+15)	230(+49)
団体会員	63(±0)	4(±0)
法人会員	11(+2)	9(±0)
		計
		707
		67
		20

近畿支部

実施計画		開始年度
近畿ブロック交流会の実施 隊員及びOBOGから連絡先等個人情報の入手(出発表敬時、帰国時) 実践者登録勸奨 エリアサポーター登録勸奨		1996
実施報告		
近畿ブロック交流会 9/25,26 開催地：京都府南丹市美山町 参加者60名 出発表敬に合わせて帰国隊員の動向を確認し情報を入手。 登録勸奨訪問：兵庫(2),滋賀(2),和歌山(3),大阪(1)を実施。		

中国支部

実施計画		開始年度
中国ブロック会議・中国ブロック交流会の実施		2004
実施報告		
a)中国・四国合同ブロック大会in愛媛(7/31.8/1)実施(約100名参加) b)中国ブロック会議の実施(3/19.20)		

2. 強化事業

主旨： JOCVの派遣隊員数が2万8千人を超える今日、各県協力協会・OB会とともに、協力隊事業の側面的支援を図りながら帰国隊員の組織活動強化、及びブロック活動を全国的に推進する。

東京事務局

実施計画	開始年度
各県協力協会・OB会、各国・各種OB会が行う事業に共同事業費及び情報を提供	1983
各県協力協会・OB会、各国・各種OB会への通信費支援	1993
各県協力協会・OB会、各国・各種OB会で開催する事業に対する後援	1983
各種（分野別）・各国OB会設立促進の更なる強化	1989
各県協力協会・OB会、各国・各種OB会が開催する事業及び会議等に役員・職員等の派遣	1983
各県協力協会・OB会、各国・各種OB会の基礎資料作成	1993
評議員各ブロック会議の開催	2000
JICA海外ボランティア経験者による「第4回 協力隊まつり」の開催と次回の準備	2006
その他	
実施報告	
<p>から 共同事業費等：約49団体対象に実施。 職員の会議出席：33回。</p> <p>北海道ブロック会議(3/12～/13 札幌市)、東北ブロック会議(11/13～/14 青森県八戸市)、 関東ブロック会議(11/20～/21 群馬県みなかみ町)、東海・北陸ブロック会議(2/27～/23 名古屋市) 近畿ブロック会議(9/25～/26 京都府南丹市)、中国ブロック会議(3/19～/20 広島市)、四国ブ ロック会議(11/27 愛媛県中央市)、九州・沖縄ブロック会議(11/27～/28)</p> <p>第4回協力隊まつりを4月3日・4日実施、約1,000名の参加者を得た。</p>	

近畿支部

実施計画	開始年度
近畿2府4県OB/OG会が開催する各種事業及び会議等への出席	1996
各県協力協会・OB会、各国・各種OB会で開催する事業に対する後援	1996
各県協力協会・OB会、各国・各種OB会が開催する事業及び会議等に役員・職員等の派遣	1996
その他団体（近畿シニアOV会やプラザ大阪等）との連携促進	2000
実施報告	
<p>OB/OG 会総会等：5/15 京都、5/22 奈良、6/13 滋賀、8/8 兵庫、11/27 大阪、12/5 和歌山</p> <p>・OB/OG 会月例会出席：大阪、兵庫、奈良、滋賀、京都、和歌山</p> <p>・KOCA 理事会等出席：7/3、8/4、8/7、8/15、9/15、10/1、11/1、1/8、2/8、3/24</p> <p>・和歌山寺杉 OB 会長と打合せ 8/24</p> <p>・表敬訪問同行(22-1,22-2,22-3,22/4)、帰国隊員報告会出席、新規派遣隊員壮行会出席、必要資料送付、 事務所会議室利用の便宜供与等</p> <p>奈良 OB 会 8/21「国際協力の広場」、関西教員 OV の会 8/28、1/8、 KOCA9/4「国際交流ふれあい農園 収穫祭」、滋賀 OB 会 9/20 おうみフェスタ、</p> <p>近畿シニア OV 会やプラザ大阪等との連携促進</p> <p>6/24 関西国際交流団体協議会総会、5/23 近畿 SV の会総会、6/14 大阪新隊員壮行会（ネクサス） 兵庫応援団主催イベントへの協力</p> <p>2 近畿ブロックミーティングの開催 7/11（近畿支部）、2/27（JICA 大阪）</p> <p>3 近畿ブロック会議 9/25,26（京都府南丹市）</p>	

九州支部

実施計画	開始年度
九州7県が開催する各種事業及び会議等への出席	1997
実施報告	
九州各県OB会総会への出席 長崎県(4/18)大分県(5/16)熊本県(5/22)鹿児島県(6/13)宮崎県(7/3)福岡県(7/11)	

中国支部

実施計画	開始年度
中国5県OB会が開催する会議等への出席	2001
広島市・広島県及びNGOが開催する会議等への参加	2001
実施報告	
中国5県OB会が開催する会議等への出席 ・ 6/18.9/14 広島県OB会主催の帰国・新隊員送迎会へ参加 ・ 11/13:鳥取県家族連絡会&帰国報告会への支援及び参加 ・ 1/22:岡山県家族連絡会&帰国報告会への支援及び参加 ・ 1/29:広島県家族連絡会&帰国報告会への支援及び参加 広島市「国際協力・交流の日」への参加(11/14)	

中部支部

実施計画	開始年度
東海4県・北陸3県が開催する各種事業及び会議等への出席	2008
中部シニアOV会等多団体との連携	2008
評議員各ブロック会議の開催	2008
JICA海外ボランティア経験者による「協力隊まつりin中部」開催可能性調査	新規
実施報告	
総会出席 愛知県 3/27 石川県 5/15 富山県 5/22 岐阜県 6/3 三重県 6/6 静岡県 6/5.6 平成22年3次隊 愛知県 JICAタイム 壮行会出席 (12/15) 岐阜県壮行会 12/18 平成22年4次隊 愛知県 JICAタイム 壮行会出席 (3/16) 東海・北陸ブロック会議 静岡県 浜松市 2/19.20 調査を実施したが、実施には至らなかった。	

3. 研修会、交流会事業

主旨：各県協力協会・OB会及び各国OB会が行う研修会や交流会等へ積極的に協力・支援を実施する。

また、理事会、評議員会等で研修会等を開催し自己啓発する機会を提供する。

東京事務局

実施計画	開始年度
評議員会及び理事会における講演会、講習会の開催	1989
協力協会職員に対する職員研修の実施	2000
実施報告	
理事会において、歴代事務局長等の講演会実施 新入職員研修、訓練所スタッフ研修等実施	

4. NPO法人化に係る各県協力協会・OB会と各国・各種OB会組織について

主旨：NPO法の発布後の各県協力協会・OB会のNPO法人化の動きに伴い、情報発信・交換を行いながら、より活動的な組織作りに寄与する。

実施計画	開始年度
NPO九州海外協力協会への支援 他ブロックのNPO組織化可能性調査（支部設置可能性を含む） その他	2003 2004
実施報告	
継続支援実施。 地域拠点設置検討。	

5. 新公益法人申請に向けた具体的取り組み

実施計画	開始年度
新公益法人認定申請準備	新規
実施報告	
基本方針、実施体制等及び定款の変更の案等の作業を進め、23年度中の申請を目指している。	

広報事業

担当委員会： 広報事業委員会
事務局担当： 総務部総務課・企画開発課

1. 一般広報事業

主旨： 各県協力協会・OB会及び本会会員に対し、本会の趣旨と活動を積極的に広報・啓発するための機関紙・情報誌を発行する。合わせてホームページを充実し、国際理解・協力の推進を図ることを目的として情報提供を行う。

東京事務局

実施計画	開始年度
「スプリング・ボード」の年12回発行	1987
「JOCAダイジェスト」の年4回発行	1996
JOCA ホームページの運営	2000
帰国隊員への情報誌の送付	新規
その他	
実施報告	
No.97～No.108を発行。 「帰国隊員のための 協力隊かわら版」発行に伴いダイジェストの作成は中止した。 動きのあるHP運営目指すとともに、その他広報媒体との連携を強化し編集を行った。 「帰国隊員のための 協力隊かわら版」NO.1～No.6を10月より帰国隊員及びJOCA会員に発行した。 地域実践者の登録者を対象に、事業仕分け等に関するアンケート予備調査を実施した。	

近畿支部

実施計画	開始年度
「JOCAネットワーク近畿」の発行	1996
ホームページの運営・管理	2000
近畿ブロックのデータベースの管理	1996
セミナー、講演会等の実施	

実施報告
Vol.148～Vol. 情報随時更新とサイトのリニューアルを実施 近畿地区OVのデータベース最新情報に随時更新 ・新隊員自治体出発敬時のアンケート実施と連絡先情報の入手 帰国報告会、セミナー等の実施 1 国際協力セミナーの開催、共催 5/11「フィリピンにおける孤児院の活動について」烏山逸雄 OB、5/18「スリランカを身近に」ニャーナ・ランカーラ氏、6/17「中東、アフリカ、アジアにおけるIT国際協力」末岡直樹 OB、6/24「アフリカ支援と日本の限界集落開発」中島邦公 OB、7/7「海外での健康管理」中井隆陽 OG、6/27・12/4「アイセック京都大学危機管理講座」羽田支部長、11/27「国際協力とグローカリゼーション」青木盛久 関西大学客員教授、12/1「BOP Biz と国際協力ボランティアの連携について」北野 JOCV 事務局次長、12/11「世界を感動させる本物を育てる」井村雅代 関西大学客員教授、1/11「アフリカでのBOP Biz」伊藤高明 住友化学(株)、1/13「ヤクルトの国際展開」高木久美子 吹田ヤクルト販売株式会社、「現代中国を考える」羽田支部長

九州支部

実施計画	開始年度
九州ブロックのデータベースの管理	2002

中国支部

実施計画	開始年度
中国ブロックのデータベースの管理	2004
ホームページの運営・管理	2004
中国支部通信(e-mailのみ)の発行	2004
実施報告	
中国ブロックの帰国隊員情報、自治体情報の収集、管理、更新。 情報の更新を実施。 各県のOB会情報を収集し、支部通信を月2回定期的に発信。	

中部支部

実施計画	開始年度
中部ブロックのデータベースの管理	2008
ホームページ作成・運営	2008
中部支部通信発行	2009
実施報告	
中国ブロックの帰国隊員情報、自治体情報の収集、管理、更新。 情報の更新を実施。 情報収集や内部討議は行ったが、発効までには至らなかった。	

1. その他広報

主旨：「JOCVニュース」および各関係団体の広報紙に、本会が集積した途上国情報や人材を提供・推薦すると共に、本会の活動および情報を提供する。

東京事務局

実施計画	開始年度
協力隊等、各関係機関への協力 その他	1983
実施報告	
協力隊事務局、JICA、地方自治体、OB会等の関係機関及び報道機関等に情報提供を行った。	

中・長期事業

担当委員会： 中・長期事業委員会
事務局担当： 総務部企画開発課

1. 事業拡大に伴う中・長期事業計画

主旨：当協会の将来を見据えた事業を提案・検討するとともに、会員等からの新規事業提案に対応する。

実施計画	開始年度
青年海外協力隊応募促進支援事業 a) JOCAネットコミュニティー事業 地域実践者1万人登録 JOCAエリアサポーター完全登録47都道府県 b) 全国統一の「協力隊相談コーナー（仮称）」の設置 c) 帰国隊員の市町村表敬事業 d) 職種別応募相談サービス e) 農業・工業高等学校との連携事業 国内版協力隊構想推進事業 a) JOCAサイバー講座 b) 国際協力士(仮称)資格制度の調査・研究 c) JOCA研修所(仮称)開設にむけた調査 現地版協力隊構想推進事業 a) マラウイ国農民自立支援プロジェクトの推進 b) ラオスプロジェクトの推進 c) 現地版協力隊構想推進事業の調査・研究 その他	2004 新規 新規 2007 新規 2009 2005 2009
実施報告	
青年海外協力隊応募促進支援事業 a) 地域実践者登録者拡大：3月31日現在、登録者5,080名 JOCAエリアサポーター完全登録：3月31日現在、1,563自治体登録（87%） ・北海道、石川、福井、静岡、岐阜、三重、鳥取、長崎、宮崎県は100%登録済み。 「東北地方太平洋沖地震」支援活動にかかる情報発信 ・3/12以降順次、被災地域の実践者，自治体へのお見舞い及び支援ニーズの募集を発信。 岩手県遠野市から要請返信を受け、以後ニーズ調査要員派遣へとつながる。 b) 47都道府県・全国統一「協力隊ナビ ～協力隊経験者と語ろう～」の実施 ・参加OB：1,060名、一般参加者：676名、実績：H22年秋募集に30名応募、13名合格 c) 東海北陸：1/24-2/10 16名実施 15市町村 福岡県：1/24-2/16 6名実施 4市町村 d) 全体登録者 1,516名（3/31現在）、122職種（130名）対応 ・春募集 応募した登録者 57名(合格者33名)、秋募集 応募した登録者 52名(合格者15名) e) 情報収集を実施した。	

国内版協力隊構想推進事業

- a) 「協力活動手法の考え方」「世界の宗教事情」「ボランティア体験と社会還元」の3講座を制作。
 - ・ 3月18日からモニタリング実施。
- b) 情報収集を行った。
- c) 情報収集を行った。

現地版協力隊構想推進事業

- a) ・丹羽代表 1月～2月4日まで国内業務、各所で報告会を実施。
 - ・ 1月19日 マラウイ財務大臣等とJOCAプロジェクトに関する会議開催。
 - ・ 2月8日 マラウイ財務省援助・債務局長と面会。(丹羽代表)
- b) ・10月 青年同盟とMOU締結、名称は「JOCA - ラオス青年同盟 学校美化推進プロジェクト」に決定。
 - ・ 2/6 本部職員1名の現地派遣。2/11 ビンチャンにて管理評価委員会を開催。保坂常務理事出席。レプションでは青年同盟総裁、官房長官、日本大使館書記官、JICAラオス事務所次長など来賓出席。
 - ・ 本格実施に向け青年同盟プロジェクト事務局業務を順次開始、本部からは事務のフォロー実施。
- c) 情報収集を実施。

その他

- a) キャラバン及びエリアサポーター関連活動
 - ・ 6月28日横浜労災看護専門学校での講演、10月2日の学園祭での2名の看護師の特別講演を実施
 - ・ 台東区立幼稚園に対する通訳ボランティア(5/17・6/23・7/12英語、5/20タガログ、7/13中国語、12/9英語、12/13英語、3/9英語)
 - ・ 栃木県さくら市(国際交流協会)×マラウイ(JOCA) 絵画交流ビエンナーレを実施。さくら市側135作品、マラウイ側100作品をムジンバ県内小学校で展覧会開催(11/16)。下野新聞掲載(2/9)。さくら市内小学校7校にて巡回展示実施終了(2/7～3/18)。H23.10月「さくら市文化博」にて展示予定。